

# 長野県下伊那南部地域公共交通対策協議会

平成20年3月27日設置  
平成21年2月19日連携計画策定



## 概要

当地域における交通不便者等は、主に高校生及び70歳以上の高齢者である。その交通不便者等の移動先は飯田市中心部に集中しており、移動目的は、通院及び通学が主なものである。よって、当地域から飯田市中心部へ接続する公共交通機関の確保は欠かせないと言える。

現在、当地域における広域的な交通手段は、JR飯田線及び阿南線、売木線、天龍村村営バスなどである。しかし、阿南線や売木線、天龍村村営バスは、通学対応ができないため(通学が可能な時刻にJR飯田線に接続していない)、高校生の多くは親の送迎により通学している(最寄り駅までの通学を含む)。

また、阿南線の飯田中心部まで80分近い時間がかかることや売木線との接続もよくないことから、高齢者の通院に利用されることもあまりない。

このような状況にある当地域において、当地域の重要な公共交通である、信南交通株式会社が運行する生活路線バスの「阿南線」が平成22年度を目途に廃止されることになった。「阿南線」はJR飯田線とともに当地域住民の生活圏である飯田市中心部までの移動を担ってきた重要な公共交通である。この「阿南線」が廃止されることにより、当地域は飯田市までの「幹線」を失うことになる。

このような背景を受け、「阿南線」に代わる公共交通を整備し、当地域住民の生活確保や過疎化に歯止めをかけるために、「長野県下伊那南部地域公共交通対策協議会」を設立し、下伊那南部地域公共交通総合連携計画を策定した。

平成21年度から23年度までの3年間に路線バスの実証運行を行い、計画的かつ効率的・効果的な実行を確保することを目的とする。

## ○路線バスの運行

南部地域の基幹路線の新阿南線及び主要路線の温田線、泰阜線を路線バスで実証運行し、交通不便者の利便性の向上を図る。

## ○路線バス車両購入整備

新阿南線、温田線、泰阜線でバスを導入し、交通不便者の利便性の向上を図る。

## ○デマンド交通等に使用するバス車両購入整備

南部地域の基幹路線である新阿南線、温田線に接続する町村のバスを導入し、地域の交通不便者の利便性の向上を図る。

## ○公共交通サービスに関する情報提供

新阿南線、温田線、泰阜線のバス路線及びJR飯田線の交通マップを作成し、利用促進を図る。

